

OKYAKUSAMA NO OTAKUHAIKEN!!

# お客様のお宅拝見!!

番外編

つなぐ

シンフォニータウン高塚駅東  
モデル棟"LINKAGE"



「いつからだろう、手のひらの小さな画面と短い単語で会話が成り立つようになったのは、そして、どれくらいだろう、本当の名前を知らない友達の数は・・・」ふと、そんな風に思うことがあります。SNSの発達は、便利さと引き換えに、何か大切な事を無くしているのかもしれませんが。そんな抗うことのできない人と人の関わりの変化の中、スズキハウスが新しいモデルハウスのテーマとして選んだのが「つながり」です。

今回は、企画・設計者である、住宅事業部荒木に、設計上の狙いや苦労話を聞きました。

## Q. この建物のコンセプトの「つながる」。

なにがどのように繋がっているのですか？

「つながりを意識したものは幾つかあります。わかりやすいのは、IoTを通じて、家電や住宅設備、照明が繋がっていることです。スマートスピーカー等の音声デバイスを使って簡単に操作ができます。2つ目は、スマホによる、外からの住宅設備の操作を可能にした事です。そして、3つ目は個人的に最も重視した、家族の繋がりで、ダイニングを中心にそれを取り囲むように、キッチン、リビング、中二階のワーキングスペース、和室を配置し、家族の誰がどこに居ても互いの動きを把握しやすくなるよう意識しました。」



リビング

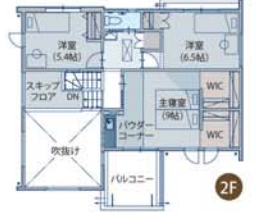
## Q. では、苦労したところはどんなところですか？

「ただ単に間仕切りを無くして、部屋どうしを物理的につなぐのではなく、空間一つひとつに意味を持たせ、どこに居る時は誰と接点があるのか、家族それぞれを、どの空間でどう繋げるのかを考えるのに苦労しました。」

それと、スズキハウスとして初めて採用する最新のIoT設備もあったので、その基礎工事や設定には結構苦労しました。最初はAIスピーカーが反抗期に陥りエアコンを入れてくれなくなって、ちょっと焦りました(笑)。」



1F



2F

## Q. ここはぜひ見て欲しいというポイントは？

「多すぎて、ちょっと迷いますが(笑)、あえて選ぶなら、寝室のパウダーコーナーですかね。イメージ通りカッコ可愛く仕上がっていますので、是非ご覧ください。」



パウダーコーナー

また、「反省フロア」と不本意な社内呼称をつけられた、土間スペースも是非見てください。趣味部屋に使って頂きたいスペースなんですけど、これも、籠らず、家族の傍で一緒に趣味を楽しんでもらいたい、との思いで設置したものです。」



土間スペース

このモデルハウスは、「LINKAGE(リンケージ)」と名付けました。「連携・つながり」という意味ですが、自動車の機構でも、シフトリンケージ、ステアリングリンケージなど、よく出てくる単語です。いずれも、人間の微妙な操作を機械に伝える大切な部分に使われています。この家も、家族を、そして、人と住まいをしっかりと繋げる橋渡しになって欲しい…。そんな思いを込めてみました。是非お近くにお越しの際はご見学ください。



ダイニング



スキップフロア

